【参考資料】

2020年度わが国貿易収支、経常収支の見通し

～ 輸出が緩やかに持ち直し貿易収支は改善、経常黒字は20兆円回復 ～

2019年12月2日（月）発表
貿易動向調査委員会

一般社団法人 日本貿易会
Japan Foreign Trade Council, Inc.

日本貿易会 貿易見通しの特徴

- 日本貿易会 貿易動向調査委員会に参加する**商社８社***が共同で見通しを作成

  ＊８社（社名五十音順）
  伊藤忠商事㈱、住友商事㈱、双日㈱、豊田通商㈱、㈱日立ハイテクノロジーズ、丸紅㈱、三井物産㈱、三菱商事㈱

- 社内外へのヒアリング等に基づく**「商品別積み上げ方式」＋「マクロ的分析」**により作成

- 1974年から開始（**2019年で46年目**、のべ65回目）

前提条件とした経済環境

		2018	2019	2020
世界貿易	（年）	3．7%	1．1%	3．0%
世界経済	（年）	3．6%	3．0%	3．3%
米国		2．9%	2．3%	2．1%
ユーロ圏		1．9%	1．2%	1．3%
アジア新興国		6．4%	5．9%	6．0%
日本経済	（年度）	0．7%	0．7%	0．6%
為替レート （円／ドル）	（年度）	111	108	108
原油入着価格 （ドル／バレル）	（年度）	71	65	65

- **米国は2019年12月15日に対中関税引き上げ第4弾を完全実施**
  （スマートフォン、玩具などに15%の追加関税）
- **2020年の世界経済は、一部新興国の復調によってやや持ち直すが、米国や中国は減速が続く**

今回の予測結果

輸出が緩やかに持ち直し貿易収支は改善、経常黒字は20兆円回復

1．通関輸出は、2019年度が前年度比5.0%減の76.7兆円、2020年度は同3.1%増の79.0兆円。

- 2019年度は、米中摩擦などに伴う世界経済の減速が下押し。
- 2020年度は、①**ITサイクルの底入れ**、②**高付加価値品への需要増**が、機械類などの輸出を価格・数量の両面で押し上げ。

2．通関輸入は、2019年度が前年度比3.2%減の79.7兆円、2020年度は同0.9%増の80.4兆円。

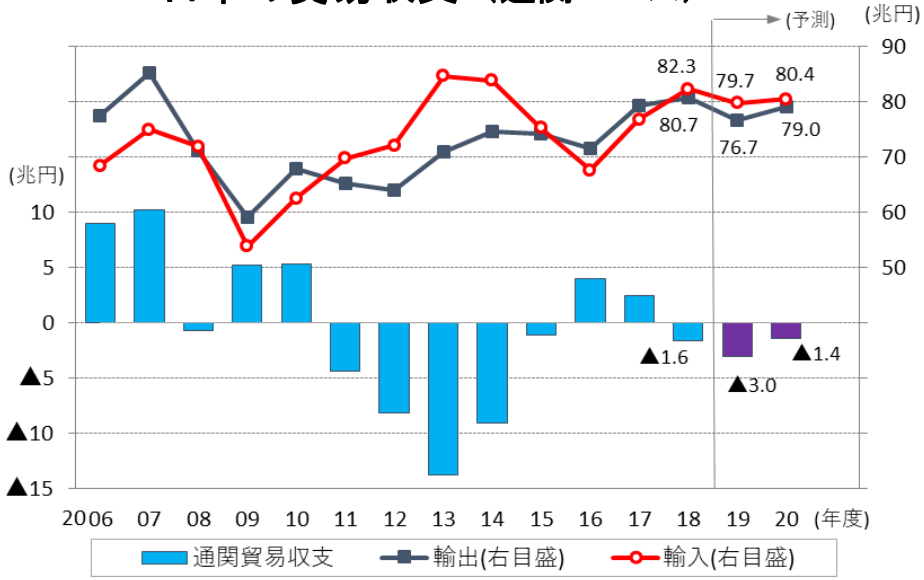
- 2019年度は、原油価格下落の影響大。
- 2020年度は、**商品市況の安定**のほか、**東京五輪**や**5Gサービス開始**がAV機器や通信機などの需要を喚起し、輸入を押し上げ。

3．経常収支は2019年度18.6兆円、2020年度20.6兆円。

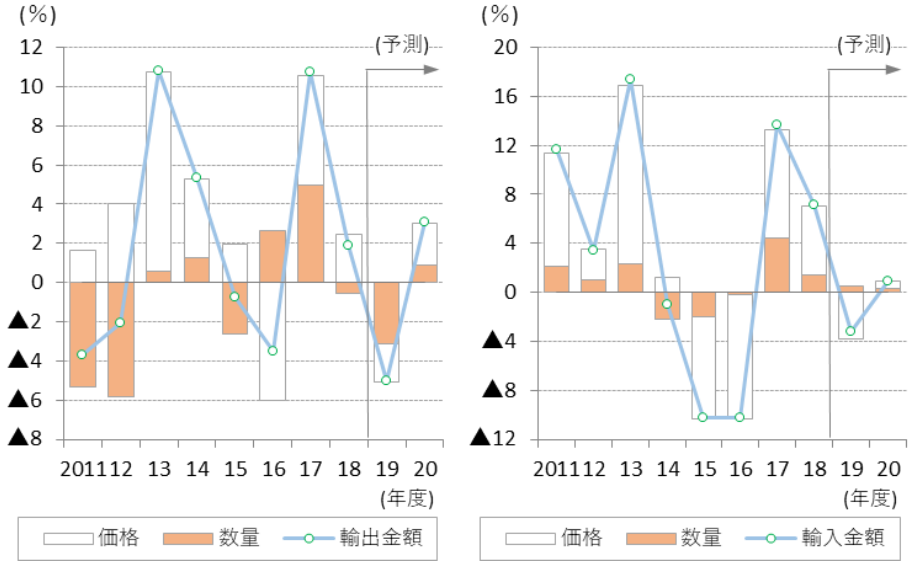
- 2020年度は貿易収支が改善。サービス収支の赤字幅が過去最小に。第一次所得収支の黒字幅が過去最大に（21.7兆円）。

通関貿易収支の見通し

日本の貿易収支（通関ベース）



数量と価格の推移（前年度比）

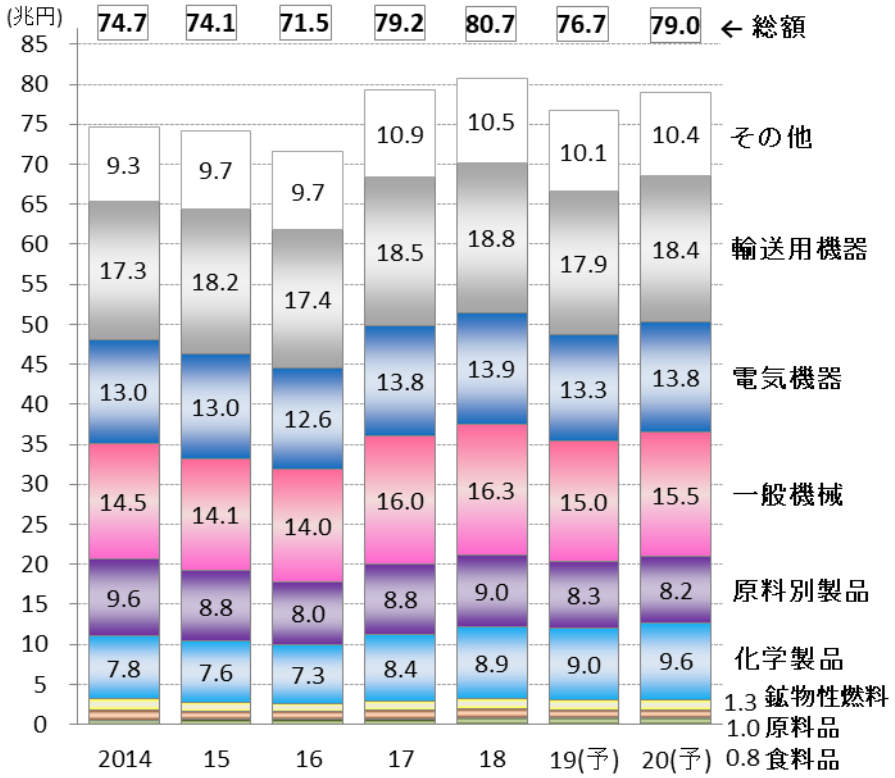


	2018年度 実績 (10億円)	2018年度 実績 対前年度比増減(伸び率)	2019年度 見込み (10億円)	2019年度 見込み 対前年度比増減(伸び率)	2020年度 見通し (10億円)	2020年度 見通し 対前年度比増減(伸び率)
通関貿易収支	▲ 1,595	−4,005	▲ 3,036	−1,442	▲ 1,401	+1,636
輸出	80,710	(1.9%)	76,672	(−5.0%)	79,022	(3.1%)
数量要因		−0.6%		−3.1%		0.9%
価格要因		2.4%		−2.0%		2.1%
輸入	82,304	(7.2%)	79,709	(−3.2%)	80,423	(0.9%)
数量要因		1.4%		0.5%		0.3%
価格要因		5.7%		−3.8%		0.6%

品目別輸出の見通し

- **2019年度 … 製造業を中心とした世界経済の減速、とりわけ米中貿易摩擦などによる先行き不透明感の強まりを受けた設備投資抑制が押し下げ。**
- **2020年度 … ITサイクルの下降に歯止めがかかることや、日本製の高付加価値品へのニーズの高まりが、機械類などの輸出を価格・数量の両面で押し上げ。**

日本の品目別輸出（年度）

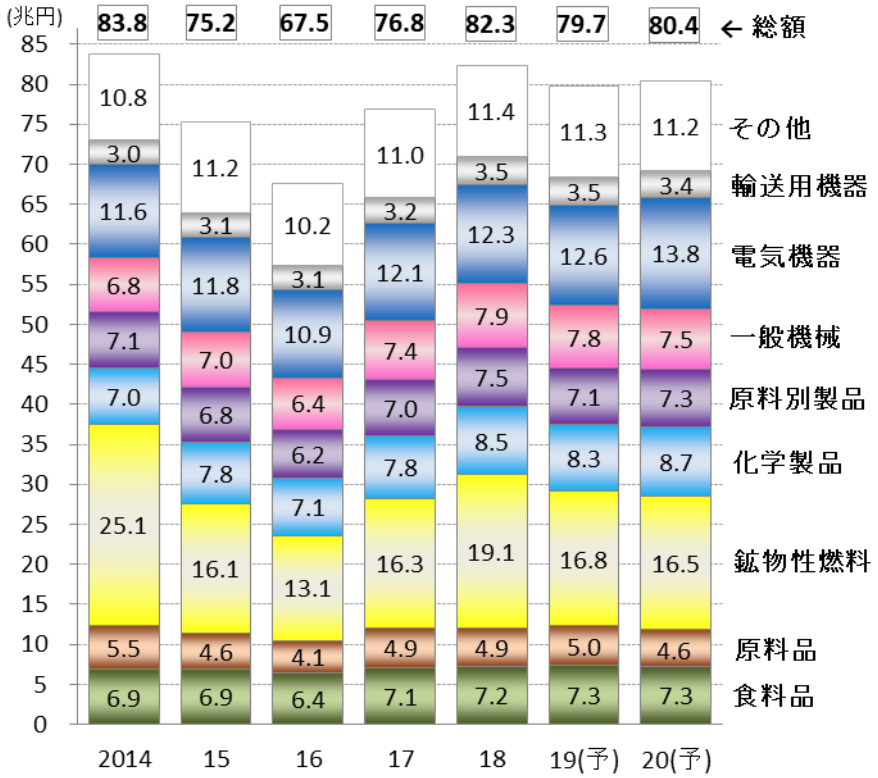


（主な具体的商品）		2018年度シェア(%)	前年度比増減率（%） 2018	19(予)	20(予)
輸出総額		**100.0**	1.9	▲ 5.0	3.1
食料品		0.9	14.2	2.2	1.1
原料品	（生ゴム、金属ｽｸﾗｯﾌﾟ）	1.4	1.6	▲ 7.2	▲ 1.4
鉱物性燃料		1.7	21.3	▲ 6.7	2.4
化学製品	（ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ、有機化合物、化粧品、医薬品）	11.1	6.9	0.7	6.8
原料別製品	（鉄鋼、非鉄金属、繊維製品、ｶﾞﾗｽ、ﾀｲﾔ）	11.1	1.8	▲ 7.6	▲ 0.5
一般機械	（原動機、建設･鉱山機械、金属加工機械）	20.2	1.9	▲ 8.2	3.6
電気機器	（電子部品、電気計測機器）	17.3	0.9	▲ 4.2	3.5
輸送用機器	（自動車、自動車部品、船舶）	23.3	1.8	▲ 4.8	2.7
その他	（科学光学機器）	13.0	▲ 3.3	▲ 4.0	2.8

品目別輸入の見通し

- 2019年度 … 素材製品を中心に数量の増勢が弱まる。加えて、原油価格の下落が全体の2割強を占める鉱物性燃料の輸入を下押し。
- 2020年度 … 東京五輪や5Gサービス開始がAV機器や通信機などの需要を喚起し、輸入を押し上げ。商品市況の安定も輸入減の歯止め役に。
  もっとも、内需全体では低迷が続くなかで、数量の伸びはさらに鈍化。

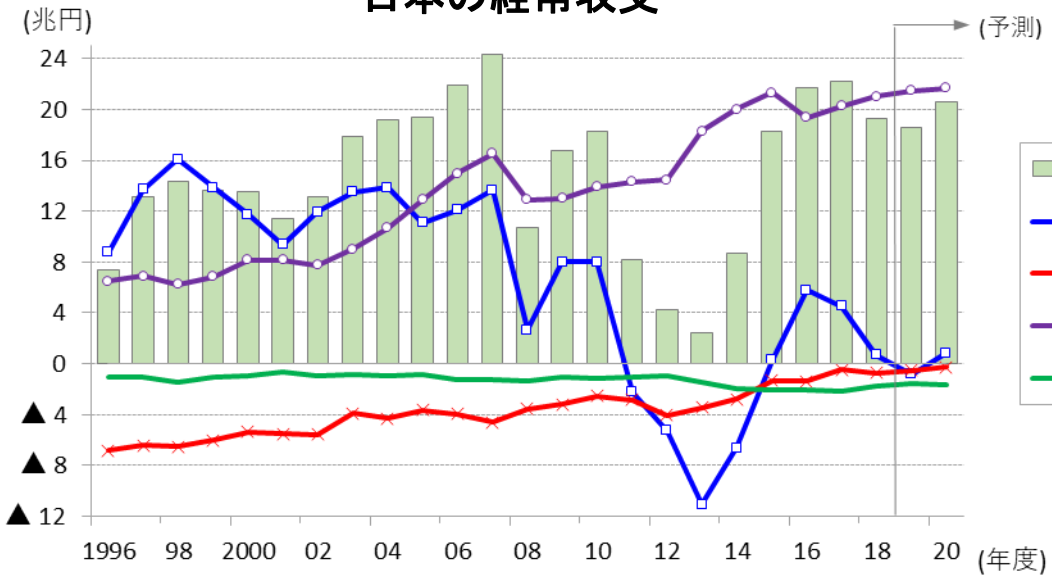
日本の品目別輸入（年度）



（主な具体的商品）		2018年度シェア(%)	前年度比増減率（%） 2018	19(予)	20(予)
輸入総額		100.0	7.2	▲ 3.2	0.9
食料品		8.8	1.3	1.4	▲ 0.6
原料品	（鉄鉱石、非鉄金属鉱）	5.9	0.2	1.7	▲ 6.3
鉱物性燃料	（原油、LNG、石炭）	23.2	17.5	▲ 11.8	▲ 1.8
化学製品	（医薬品、有機化合物）	10.3	8.7	▲ 2.2	4.5
原料別製品	（非鉄金属、鉄鋼、繊維製品、ガラス）	9.1	6.9	▲ 5.1	2.9
一般機械	（ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ･周辺機器）	9.6	6.7	▲ 1.6	▲ 3.6
電気機器	（通信機、電子部品）	15.0	1.7	2.3	9.6
輸送用機器	（自動車、航空機）	4.3	9.0	▲ 0.1	▲ 2.6
その他	（衣類、科学光学機器）	13.8	3.5	▲ 0.9	▲ 0.3

経常収支の見通し

日本の経常収支



(注1)第1次所得収支は、直接投資収益や証券投資収益など、対外債権・債務から生じる利子・配当金の収支。第2次所得収支は、官民の無償資金協力、寄付、贈与、賠償金などの収支。

(注2) 国際収支統計上の貿易収支の改善や悪化は、通関貿易統計と概ね連動するが、輸入の定義の違い（運賃や保険料を控除）などにより収支の水準が異なる。

	2018年度 実績		2019年度 見込み		2020年度 見通し	
	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)	(10億円)	対前年度比増減 (伸び率)
貿易・サービス収支	▲ 16	−4,099	▲ 1,346	−1,330	596	+1,942
貿易収支	696	−3,843	▲ 811	−1,507	837	+1,648
輸出	80,326	(2.6%)	76,308	(−5.0%)	78,647	(3.1%)
輸入	79,630	(8.0%)	77,118	(−3.2%)	77,809	(0.9%)
サービス収支	▲ 712	−256	▲ 535	+177	▲ 241	+294
第一次所得収支	21,013	+746	21,512	+500	21,705	+192
第二次所得収支	▲ 1,753	+422	▲ 1,563	+191	▲ 1,693	−130
経常収支	19,243	−2,931	18,603	−640	20,608	+2,005

（補　足）

2019年度　品目別増減
（寄与度順）

輸出　76.7 兆円　（ −5.0%）					
増加			減少		
（品名）	（10億円）	（伸び率）	（品名）	（10億円）	（伸び率）
化学製品	**8,995**	**0.7%**	**一般機械**	**14,970**	**−8.2%**
食料品	**771**	**2.2%**	**輸送用機器**	**17,875**	**−4.8%**
			原料別製品	**8,287**	**−7.6%**
			電気機器	**13,349**	**−4.2%**
			自動車の部分品	3,505	−11.0%
			その他	**10,102**	**−4.0%**
			鉄鋼	2,998	−10.2%
			自動車	12,000	−2.2%
			原動機	2,720	−7.5%
			非鉄金属	1,336	−8.4%

輸入　79.7 兆円　（ −3.2%）					
増加			減少		
（品名）	（10億円）	（伸び率）	（品名）	（10億円）	（伸び率）
電気機器	**12,613**	**2.3%**	**鉱物性燃料**	**16,845**	**−11.8%**
鉄鉱石	1,249	21.4%	LNG	4,114	−15.5%
電算機類（含周辺機器）	2,228	8.5%	原油及び粗油	7,970	−8.6%
食料品	**7,320**	**1.4%**	石炭	2,430	−14.4%
原料品	**4,960**	**1.7%**	**原料別製品**	**7,078**	**−5.1%**
通信機	3,087	1.5%	石油製品	1,742	−10.6%
			化学製品	**8,327**	**−2.2%**
			非鉄金属	1,794	−8.2%
			非鉄金属鉱	1,319	−10.3%
			半導体等電子部品	2,635	−5.3%

2020年度　品目別増減
（寄与度順）

輸出　79.0 兆円　（ +3.1%）					
増加			減少		
（品名）	（10億円）	（伸び率）	（品名）	（10億円）	（伸び率）
化学製品	**9,606**	**6.8%**	船舶	1,130	−15.2%
一般機械	**15,504**	**3.6%**	鉄鋼	2,954	−1.5%
輸送用機器	**18,352**	**2.7%**	**原料別製品**	**8,245**	**−0.5%**
電気機器	**13,810**	**3.5%**	ゴム製品	848	−4.6%
その他	**10,386**	**2.8%**	**原料品**	**1,040**	**−1.4%**
自動車	12,240	2.0%			
自動車の部分品	3,680	5.0%			
原動機	2,856	5.0%			
科学光学機器	2,238	4.4%			
半導体等電子部品	4,078	2.0%			

輸入　80.4 兆円　（ +0.9%）					
増加			減少		
（品名）	（10億円）	（伸び率）	（品名）	（10億円）	（伸び率）
電気機器	**13,821**	**9.6%**	原油及び粗油	7,593	−4.7%
化学製品	**8,701**	**4.5%**	**原料品**	**4,648**	**−6.3%**
半導体等電子部品	2,861	8.6%	**鉱物性燃料**	**16,538**	**−1.8%**
通信機	3,304	7.0%	電算機類（含周辺機器）	1,950	−12.5%
原料別製品	**7,280**	**2.9%**	**一般機械**	**7,508**	**−3.6%**
石油製品	1,888	8.3%	鉄鉱石	979	−21.7%
非鉄金属	1,916	6.8%	LNG	4,017	−2.4%
非鉄金属鉱	1,429	8.3%	**輸送用機器**	**3,414**	**−2.6%**
衣類・同付属品	3,428	2.8%	航空機類	780	−6.1%
LPG	594	8.6%	**食料品**	**7,276**	**−0.6%**

「通関貿易収支」と経常収支の「貿易収支」の違い

- **「通関貿易収支」：通関ベース**

  モノの貿易に特化して商品別に細かく分析しているため、**国や企業の経済活動状況や景況感がわかる**

- **「貿易収支」：決済ベース**

  国際的な資金の流れとして貿易収支を分析しているため、**諸外国との財貨・サービス・カネの動きがわかる**